

Topics of the month

熊本県大津町と熊本銀行が 包括連携協定を締結しました！

本年3月8日(水)、熊本県大津町は熊本銀行と包括連携協定を締結しました。



署名した協定書を囲んで(前列左から大津町佐方美紀副町長、金田英樹町長、野村頭取、北岡取締役常務執行役員、後列左から大津町藤本聖二総務部長、剣持大津支店長)

2021年11月、台湾の半導体受託製造大手TSMCの菊陽町進出が決定し、熊本県は日本のみならず世界からも注目を集めました。TSMC進出決定後、大津町には、半導体関連企業のみならず、物流、人材派遣会社などの企業進出が公表されています。すでに進出している企業の工場増設なども発表され、TSMC進出の影響の大き

さを物語っています。

インフラ面では、空の玄関口となる阿蘇くまもと空港の新旅客ターミナルが3月23日にオープン。昨年12月の熊本県議会でも空港アクセス鉄道は、肥後大津ルートと蒲島熊本県知事が表明、今後、国内外からの来訪が見込まれ、さらなる町の発展に寄与することが予想されています。

金田英樹町長は、政策提言として7つの政策視点で「新しい大津町をつくる101の具体策」にまとめ、実現に向けて取り組まれています。熊本銀行は、大津町が進める施策の実現について、一緒に協議を重ねてきましたが、これまで以上に大津町との連携を深めるために連携協定を締結する運びとなりました。

熊本銀行は金融的な機能にとどまらず、FFGが持つあらゆる機能を活用し、まちづくり、企業誘致、地域振興、海外経



署名を終え撮影に応じる金田町長と野村頭取



協定書に署名する金田町長と野村頭取

済交流・海外情報の提供など、施策実現への全面的なサポートを行います。

熊本銀行は金田町長の目指す「新しい大津」のまちづくり実現に向けて支援するとともに、地域に寄り添った取り組みを進めてまいります。